第二十七回帝國議會貴族院

日本勸業銀行法中改正法律案外二件特別委員會議事速記錄第一號

付託議案
日本勸業銀行法中改正法律案
農工銀行法中改正法律案
日本興業銀行法中改正法律案
北海道拓殖銀行法中改正法律案

委員氏名
委員長　伯爵吉井幸藏君　副委員長　子爵牧野忠篤君
委員
男爵新田忠純君　男爵吉川重吉君　富田鐵之助君
鮫島武之助君　富井政章君　室田義文君
伊藤長次郎君

明治四十四年三月十三日（月曜日）午後一時七分開會

○委員長（伯爵吉井幸藏君）　是ヨリ委員會ヲ開キマス

○富田鐵之助君　ドウカ御提出ニナリマシタ政府ノ御趣意ヲ伺ヒタイ

○政府委員（勝田主計君）　今回提出シテ居リマス案ガ四ツゴザイマスル、日本勸業銀行法中改正、農工銀行法中改正、日本興業銀行法中改正、竝ニ北海道拓殖銀行法中改正、斯ウアリマス、ソレデ勸業銀行法ノ改正法ト農工銀行法ノ改正法ハ是ハ同趣意ニ於テ改正イタシテ居リマスカラシテ、先ヅ是カラ大體ノ說明ヲ致シマス、御承知ノ通リ政府ニ於キマシテハ成ルベク一般ノ金利ヲ下ゲテ產業ニ之ヲ使ハスコトニシテ、國富ヲ增ストニ云フ精神ニ於キマシテ總テノ計畫ヲ立ッテ居リマスノデ、卽チ御承知ノ通リ公債ヲ四分ニ整理イタシマシタトニ云フコトモ、矢張リ此大方針カラ來テ居リマスノデアリマス、此方針ヲ以チマシテ段々實行イタシテ見マスルニ、稍〻好結果ヲ得マシテ大分金利モ下ガッテ來マスルシ、ソレカラ資金モ稍〻裕カニナッテ來ルトニ云フヤウナ傾向ニナッテ居リマス、併ナガラ又一方カラ觀察シマスルト、是等金利ノ低落、又資金ノ潤澤ト申シマスルコトガ都會ニハ相當ニ行ハレテ居リマスルガ、此都會ヲ去ッタ地方ニ至リマスルト、斯樣ナル情況ガ都會ニ比シテ見マスルト、ドウモ其釣合ガ取レテ居リマセヌノデ、ソレデ是ハドウシテモ全國通ジテ成ルベク資金ヲ潤澤ニシ金利ヲ低落ナラシムルトニ云フ方法ヲ講ジナケレバナラヌトニ云フコトデ、段々政府ニ於テ考ヘマシタカラシテ、ソレデ此地方ノ資金ヲ潤澤ニ致シマスルトニ云フヤウナ上ニ付キマシテハ、先ヅ御承知ノ如クニ資金ヲ既ニ融通スルトニ云フコトガアリマスカラ、信用デ之ヲ融通スルカ、或ハ動產ニ依ッテ融通スルカ、又ハ不動產ニ依ッテ融通スルカトニ云フノ方法ニ過ギナイノデアリマス、ソレデ此地方ノ金融ノコトニ付キマシテハ要シマスルニ此動產トニ云フ方デハ中〻此十分ナル融通ヲ付ケル譯ニハ參リマセヌ、又信用トニ云フ側カラ申シマシテモ、例ヘバ產業組合ノ如キ其他ノ公共團體ノ如キモノノ信用デ、金融ヲ致シマストニ云フ機關ガ出來テ居リマスガ、是トテモ亦要シマスルニ今日マダ十分ニ發達ヲ見ルコトガ出來ヌトニ云フヤウナ狀況デアリマスカラ、ドウシテモ玆ニ不動產トニ云フモノニ十分ナ力ヲ與ヘテ、サウシテ不動產ヲ圓滑ニ運轉ヲサセルトニ云フ方法ヨリ他ニ方法ガ無イトニ云フ、斯ウ云フ風ナ大體ノ考ヘニナリマシタノデ、サウ致シマスルト、其現今ノ所、此不動產ニ對シテ金融イタシテ參リマスル機關ト致シマシテハ、御承知ノ如クニ此勸業銀行ナリ、農工銀行デ致シマスルノデ、尤モ勸業銀行、農工銀行ニ於キマシテハ唯今申上ゲマシタ公共團體、產業組合ニ信用ノ貸付ヲモ致シマスガ、大體ノ所、此兩銀行ガ不動產金融ノ特設貸付ニナッテ居リマス、併ナガラ今日ノ所ニナリマスルト、此金融機關ハ法律ニモ明文ガゴザイマスル通リニ、勸業銀行ニ於キマシテモ、農工銀行ニ於キマシテモ、農工業ノ爲ニ資金ヲ供給スルトニ云フコトニ限ラレテ居ル、不動產ニ資金ヲ回スガ、ソレガ農工業ノ資金デナケレバナラヌトニ云フコトニ限定サレテ居リマス、ソレデ斯樣ニ限定サレテ居リマスル所カラ致シテ、詰リ不動產ノ一分部ハ資金ヲ得ルカ、大部分ハ得ルコトガ出來ヌトニ云フ結果ニナリマスルノデ、例ヘテ見マスルト今日此地方ノ農民又ハ商工業者等ガ大變ニ困ッテ居リマス、トニ云フヤウナ事情ガ何カトニ云ヘバ多大ノ負債ヲ受ケテ居ル、高利ノ負債ヲ受ケテ居ルトニ云フコトデ大變ニ困ッテ居リマス、是等ノ負債ノ整理トニ云フコトモ現今ノ所デハ勸業銀行ナリ農工銀行ナリノ法律ノ下ニハ農工業ノ爲ニ負債シタモノハ出來マスガ、其他ノモノハ出來ナイトニ云フコトニナリマス、或ハ其他公共的ノ仕事デアリマスルトカ、公益事業ノ如キモ今日ノ勸業銀行農工銀行ノ正面カラ行キマスルト、餘ホドムヅカシイトニ云フコトニナッテ居リマス、是ハマア例ヲ擧ゲマス譯デアリマス、サウニ云フ窮屈ノコトニナッテ居リマス、又一面カラ見マスルト市街ノ土地デアリマスルガ、此市街地ノ如キモ今日ノ所デハ之ニ對シマスル所ノ長期ノ不動產融通機關トニ云フモノガ整頓イタシテ居リマセヌノデ、ソレデ是等ニ付キマシテモ既ニモウ數年前カラシテ何カ相當ノ不動產ノ金融ノ機關ヲ設ケタラドウダラウトニ云フ、說モ大分ゴザイマス、ソレデ唯今ノヤウナ一ツノ詰リ事柄ヲ段々綜合イタシマシテ、政府デ考ヘテ見マシタノデアリマスルガ、是ハ其特設ニ玆ニ不動產抵當銀行トニ云フヤウナモノヲ設ケテ、或ハドウ云フ形式デモ宜イガ前ノ如キ闕點ヲ補フタラ宜イカトニ云フコトヲ考ヘマシタ、特設ニ不動產抵當銀行トニ云フヤウナモノヲ玆ニ設ケマスルコトハ、是ハ今日ノ場合ニ於キマシテ尙ホ時期ガ早イ、ドウモソコマデノ手段ヲ採ル程ノ必要ハナイ、併ナガラ唯今ノヤウナ事情ガアリマスル上ニハ、何トカシテ是等ノ要求ヲ充タシテヤラナケレバナラヌトニ云フコトニ付キマシテ、段々勸業銀行、農工銀行ノ實際ヲ調査イタシテ見マシタ、一昨年ノ暮カラ昨年ノ夏頃ニ掛ケマシテ勸業銀行、農工銀行ノ全體ヲ調査イタシマシテ、又調査イタシマスル側ラ、地方ノ產業ノ金融等ノ事モ調ベテ見マシテゴザイマス、サウ致シマスルト此勸業銀行竝ニ農工銀行トモニ相當ノ發展ハ致シテ居リマスルガ、要スルニ此目的ガ詰リ限ラレテ居リマスノデ、其目的ニ依ッテ貸付ヲ致ストニ云フコトニハナッテ居リマスルガ、玆ニ農業ナリ工業ナリヲスルカラトニ云フテ、此銀行ニ付イテ金ヲ借リル、金ヲ借リマシタ後ニ忽チ意思ヲ轉ジマシテ或ハ商業ニ使フトカニ云フヤウナ詰リ法律ニ書イテアリマスルヤウナ目的ノ他ノ

事業ニ使フト使フヤウナコトガ、實際ニ於テハ有ルト云フ觀察ヲ得マシタノデ、是ハ銀行ノ帳簿ニ就イテ見マスレバ、皆チヤント農業、工業、公共團體トカ云フ風ニ書イテアリマス、決シテ違法ノモノデハゴザイマセヌデゴザイマス、併ナガラ此事實カラ申シマスルト、サウ云フ目的デ詰リ金ヲ借リテ居リマシテモ、之ヲ他ノ目的ニ利用シテ居ルト云フコトガアルヤウニ觀察ヲシテ來マシタ、ソレデ此事ニ付キマシテハ將來、大藏省ニ於キマシテモ、勸業銀行ニ於キマシテモ、成ルベク其目的ニ貸シタナラバ其目的ニ金ガ使ハレルヤウニト云フコトノ上カラ致シマシテ十分ナル監督モ致シテ見マシタ、併ナガラドウモ此目的デ金ヲ區別スルト云フコトニナリマスガ、最初、勸業銀行、農工銀行ノ設立ノトキハ極ク僅カノ貸付デゴザイマシタカラ、事業ノ調査ヲシテ見ルト云フコトハ容易ウゴザイマシタ、併シ是ハ何千口、何万口ト云フモノニナリマスト、一々此金ハ何事業ニ貸シテ、ドウシテ居ルト云フコトヲ調ベルコトハ面倒ノコトデゴザイマス、又政府ニ於テモソレ程ノ監督ガ行屆カヌト云フヤウナ事情ガアリマスルノデ、ソレデ今日ノ如ク致シテ來マスレバ、ドウシテモ此社會ノ趨勢ニ連レマシテ右ノヤウナ事情ガ出來テ來マスルカラシテ、斯ウナレバ假令、今地方ヘ資金ヲ十分ニ回シテ低利ノモノヲ使フ、又ハ土地抵當銀行ト云フヤウナコトハ既ニ數年前カラ其必要ガ起ッテ居ル際デアリマスカラ、此目的ヲ撤去シテ仕舞ッテ、此目的ヲ撤去シテ仕舞ッタナラバ、言葉ヲ換ヘテ申シマスルト、今日ノ此勸業銀行ナリ農工銀行ナリガ事實ヤッテ居リマスコトヲムキ出シニシタモノヲ法律ニ書イテ仕舞フ、斯ウナレバ一面ニ於テハ土地抵當銀行ト云フヤウナモノヲ別ニ造ル必要ハ無イ、又一面ニ於テハ此地方ノ產業資金等ヲ供給スル上ニ付イテモ遺憾ノ無イト云フコトニナル、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、ソレデ此目的ヲ撤去スルト云フコトニ致シタノデアリマス、併ナガラ此銀行ガ前段ニ申シマシタ如ク、本來ハ勸業ノ爲ニ出來テ居ル銀行デアリマスカラシテ、此市街地ニ無暗ニ金ガ行ッテ仕舞フト云フコトニナリマシテハ、却ッテ普通銀行ノ範圍ヲ侵蝕スルト云フコトニナッテ、即チ一面ニ於テハ勸業銀行ナリ農工銀行ナリハ債券發行ト云フコトノ特權ヲ與ヘラレテ居ル、此特權ヲ與ヘラレテ居ル銀行ガ、何モ此特典ヲ持タナイ普通銀行ノ範圍ヲ侵蝕スルト云フコトニナリマシテハ、是ハ銀行行政ノ上ニ於テ大變ニ困ッタコトデアリマスカラシテ、此點ハ餘ホド愼重ニ考ヘマシタノデ、ソレデ勸業銀行、竝ニ農業銀行ニ於テハ御承知ノ通リ不動產ヲ抵當ニシテ金ヲ貸ス、其場合ニ不動產抵當ト申シマスルノモ、主トシテ此長期年賦、長期ニ亙ル年賦償還ノ貸付ヲスルト云フ斯ウ云フコトニナッテ居リマス、其不動產ヲ抵當トシテ長イ間ニ詰リ年賦間內ニ取立テルト云フ方法デ貸シマスノデアリマスカラ、要スルニ左樣ナモノハ普通ノ金デハ到底堪ヘヌコトデアリマスノデ、ソレデ玆ニ債券ト云フモノヲ發行シマシテ、而シテ長期年賦ノ貸付ヲスル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスノデ、ソレデ尙ホ此勸業銀行ニハ五箇年以內、又農工銀行モ同樣デアリマスガ五箇年以內ノ不動產抵當ノ定期貸付ガ出來ルコトニナッテ居リマスノデ、其定期貸付ト申シマスルノモ此法ノ筋カラ申シマスルト、唯今ノ債券發行ニ依ッテ得タ金ヲ以テ貸付ヲスルト云フ趣意ニハナッテ居リマセヌノデ、是ハ寧ロ此資本ノ方カラ貸スト云フ趣意ニナッテ居リマスノデ、卽チ此勸業銀行ナリ農工銀行ナリニ於キマシテハ、矢張リ勸業銀行ノ債券ハ資本金額ノ十倍、農工銀行ハ五倍ト云フコトニナッテ居リマスガ、定期償還ノ詰リ不動產貸付ト申シマスルモノハ是ハ年賦貸付高ノ、勸業銀行デアリマスレバ十分ノ一以內、農工銀行ハ五分ノ一以內ト云フ風ニ制限シテアリマスルノデ、又此定期償還ノ不動產抵當貸ノ此債券發行ノ見返リニハナラヌト云フ規定モアリマスルノデ、斯樣ナコトデ堅ク制限シテ居リマス、普通銀行ノ側カラ申シマスレバ普通銀行ハ何ヲ抵當ニ取ルト云フヤウナコトノ制限ハゴザイマセヌノデ、ソレデ本來申シマスレバ、此預金ヲ吸收シマシテ貸付ケマスルノデアリマスルカラ、成ルベク此固定スベキ貸付ト云フモノハ避ケベキデアリマスガ、併ナガラ是モ時ト事情ニ依リマシテ、或ハ金融ノ緩漫ナ際デアリマスルトカ、或ハ此地方等ニ於テ此質草ノ無イ場合デアリマスルトカ、サウ云フヤウナ場合ニ或ル部分ヲ不動產ニ放下スルヤウナコトモ必シモ是ハ間違ッタコトハ云ヘナイダラウト斯ウ考ヘテ居リマスノデ、併ナガラ是等ノ貸付ハ何レモ其預金等ニ依ッテ得タ金デアリマスルカラ、今ノ勸業銀行法ニアリマスル長期ノ貸付ヲスルト云フヤウナコトハ是ハシテハナリマセヌ、又實際ニ於テ左樣ナコトハ致シマセヌノデゴザリマス、不動產貸付ト云フコトハアリマシテモ、極ク短期ノ貸付ヲスルト云フ斯ウ云フコトニナリマスノデ、斯ウ考ヘテ見マスルト、此度、勸業銀行ナリ農工銀行ナリノ法規ヲ改正イタシマシテ、不動產抵當銀行ニ致シマシテモ、普通銀行ニ影響スルト云フコトハ殆ド無イ、斯ウ政府ハ認メマスノデ、ソレデ大體斯樣ナ意味ヲ以チマシテ此勸業銀行法、竝ニ農工銀行法ニ於キマシテ其目的ヲ詰リ削リマシタノデアリマスガ、是ガ重モナル改正デアリマス、其他ノ改正ハ比較的輕イ改正ト竝ニ既ニ此死ンデ居ル條文ヲ削リマスルトカ、或ハ條文ノ整理ヲ致シマスルト云フコトニ歸著イタシマス次第デゴザイマス、尙ホ此逐條ニ亙リマシテ申上ゲマスルト、大變冗長ニナリマスカラ、其內デ政府ノ提案ニ對シマシテ衆議院ガ修正ヲ加ヘテ居ル點ガアリマスルカラ此點ヲ一應申述ベテ置キタイト思ヒマスルノデ、ソレハ此勸業銀行法ノ改正ノ內ニ於キマシテ、「第十五條第二項ヲ左ノ如ク改ム」ト致シマシテ「產業組合、漁業組合、森林組合、又ハ其ノ聯合會ニハ抵當ヲ徵セシシテ定期償還貸付若ハ年賦償還貸付ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトヲ入レマシタノデ、是ハ從來ノ規定ニハ斯ウアルノデゴザイマス、產業組合、又漁業組合、產業組合ノ聯合會、漁業組合ノ聯合會ニ金ヲ貸付ケルコトガ出來ルト云フコトニナッテ居リマスガ、其法文ノ書キ方ガ產業組合聯合會、及此產業組合聯合會ニ加入シテ居ラヌ產業組合、漁業組合ト云フヤウニ、サウ云フヤウナ筆法デ書イテアッタノデアリマス、卽チ產業組合、竝ニ產業組合ノ發達ノ日本ノ

狀態ヲ鑑ミテ見マスルト、其書キ方ガ餘リ理想デアッテ、獨逸ノ産業組合デアレバ、サウ云フ書キ方デモ宜シイガ、日本ノ産業組合ハ御承知ノ通リ詰リ民間ニ人ガ無イ、人ガ無イ爲ニ一ツノ組合ガ各種ノモノヲ兼業スルコトニナリマス、一ツノモノガ信用組合、購買組合、消費組合デアッテ、之ガ聯合會ニ加入イタシテ居リマス、例ヘバ信用組合聯合會ニ加入シテ居ルト云フヤウナコトニナリマスト、其中ニ這入ッテ組合ト致シテ獨立シテ借ルコトガ出來ズ、聯合會カラ借リヤウトシマスレバ是モ借リルコトガ出來ヌヤウナ不具ノモノガ出來テ來マス、是ハ日本ノ産業ノ發達ガ獨逸ノ如ク整然秩序アル發達ヲシナイデ、混雜シタ發達ヲ致シテ居リマスルカラ、實際ニ右樣ナコトガ出來ルノデアリマス、ソレデ「産業組合……又ハ其ノ聯合會」ト斯ウ云フ風ニ書キマスト遺憾ナク産業組合又ハ其聯合會ノモノハ資金ヲ利用スルコトガ出來ルコトニナリマスカラ斯ウ改メタイト云フノデ、漁業組合ニ付イテモ其通リデ、是モ至極尤モノコト、思ヒマスカラ贊成イタシマシタ、森林組合ハ從來ハゴザイマセヌカッタガ、丁度此度此森林事業等ニ付キマシテモ森林ノ關係等ニ付イテ大イニ研究サレマシテ色々種々森林組合ニ資金ヲ利用スルト云フコトガ起ッテ參リマス、是モ入レタラ宜カラウト云フコトデ、政府モ無論贊成イタシマシタノデアリマス、農工銀行ノ方ノ第四條削除ト云フノガアリマスガ、是ハ詰リ第四條ト申シマスルハ株主ノ制限デアリマス、農工銀行法ノ舊來ノ第四條ニ依リマスト「農工銀行ノ營業區域内ニ原籍及住所ヲ有スル者ニ非サレハ其ノ株主トナルコトヲ得ス」ト斯ウ云フ箇條ガゴザイマス、ソレデ株主ノ制限ヲ致シテ居リマスノヲ、政府ノ原案ニ依リマスト之ヲ制限シナイヤウニナル、誰デモ株主ニナルコトガ出來ルト云フ政府ノ原案デアリマス、此原案ヲ提出シマシタ理由ハ、詰リ成ルベク此農工銀行ノ株主ヲ多クシテ株ノ價格ヲ高メ、從ッテ銀行ノ信用モ高メ債券ヲ發行スルト云フ上ニ付キマシテ非常ニ便利ヲ得ルト云フヤウナ精神カラ之ヲ政府ハ削ル、斯ウ云フコトニ提案ヲ致シタノデアリマスガ、衆議院ニ於キマシテハ是ハ舊來ノ通リニシテ置クコトガ宜カラウト云フ次第デアリマス、是モ餘リ重要ナル點デハアリマセヌカラシテ同意ヲ致シマシタ、其中ニ衆議院ニ於キマシテ法人モ矢張リ此株ヲ持ッコトガ出來ルヤウニシタイト云フコトデゴザイマシテ、其趣意カラ致シマシテ第四條ノ「原籍及」「原籍又ハ」ト云フコトヲ削レバ法人ガ持ッテルト云フノデ、斯ウ云フコトニ修正ニナリマシテ之ニ同意ヲ致シマシタ、六條ノ二ノ政府ノ提案ハ「二分ノ一」ト云フ制限ヲ付シテ居リマシタガ、「四分ノ一」ト云フコトニ衆議院ニ於テ改メマシタ、是ハ市街地ニ參リマスト資金ガ少ナクナルト云フコトニナルト存ジマスカラ、政府ニ於キマシテハ大體ノ趣意ハ先刻申上ゲマシタ如ク、産業資金モ成ルベク低利ニ圓滿ニ供給シタイト云フコトデアリマスカラシテ、異議ナク贊成ヲ致シマシタ、ソレカラ七條ニナリマシテ「二分ノ一」トアリマスノヲ「四分ノ二」トコレガ殖エテ居リマス、是ハ衆議院ノ修正デアリマス、是ハ多少殖エテ居ッテ、前ノ六條ト云フ方カラ見マスルト、チョット釣合ガ取レナイヤウデアリマスガ、併ナガラ勅令ヲ以テ指定スル土地ト云フノハ極ク僅カデ、例ヘバ京都トカ大阪トカ東京トカ云フ特別ノ所ニ限ルノデアリマスカラ、斯樣ニ致シテモ弊害ノ生ズルト云フコトハ認メラレマセヌカラ、此コトモ政府ニ於キマシテハ同意ヲ致シマシタ、ソレカラ七條ノ三ト申シマスノハ勸業銀行法ノ修正ト同樣ナコトデ、矢張リ之ヲ入レルト云フコトヲ政府ニ於テモ同意ヲ致シマシタノデゴザイマス、大體此勸業銀行法、農工銀行法ノ改正ニ付キマシテハ、左樣ナコトガ趣意ニナッテ居リマス、ソレカラ次ニ此日本興業銀行法中ノ改正デゴザイマスガ、此改正ノ要點ハ二ツバカリゴザイマス、政府ノ提案ニ依リマスト卽チ九條ノ二ト申シマスモノハ不動産ヲ擔保トシテ當座貸又ハ定期貸ヲ爲スコトガ出來ル、コレガ一ツノ要件デゴザイマシタ、本來、興業銀行ハ皆サン御承知ノ如クニ動産ヲ擔保トシテ貸付ケル機關デゴザイマス、ソレデアリマスニモ拘ラズ不動産ヲ擔保トシテ當座貸ヲスル定期貸ヲスルト云フ必要ヲ認メマシタト云フノハ、第一ニ興業銀行ニ於キマシテハ預金ヲ受ケルコトガ出來ル法律ニナッテ居リマス、既ニ茲ニ預金ト云フコトガアリマスト、此預金ヲ元ト致シマシテ當座貸越ヲスルト云フコトモ起ッテ來マス、當座貸越ヲスルトナリマスト、普通此銀行ノ業務ト致シテ不動産ヲ擔保ニ取リマシテ當座貸越ヲスルト云フコトニナリマスノデ、ソレデ斯樣ナ場合トシテ既ニ預金ト云フコトガ認メテアル以上ハ、ドウシテモ認メテヤラナケレバ働キガ出來ヌト、斯ウ云フコトニナリマスカラ、不動産ヲ擔保トシテ當座貸ヲスルト云フヤウナコトヲ許スト云フコトニ致シマシタ、又興業銀行ニ於キマシテハ工場財團、之ヲ抵當ト致シマシテ資金ヲ融通スルト云フコトガ舊來ノ法律ニゴザイマス、此工場財團ハ私ガ申上ゲルマデモナク、不動産ノ大集團デアリマスカラ、興業銀行ノ如キ外資輸入ノ機關ハ此不動産ノ大集團ニ對シマシテ資金ヲ融通スルト云フコトハ無論必要ナコトデ、是ハ既ニ許サレテ居リマス、併ナガラ此財團ヲ設定イタシマストト云フコトハ、ナカ〳〵時日ヲ要シマスノデ、短クモ二四箇月、大會社デアリマスト殆ド一箇年モ財團ヲ設定スルニ掛カルト云フコトモアリマスノデ、ソレ等ノ間ニ於キマシテ資金ヲ利用スルコトガアル、其場合ニ終局ハ詰リ不動産貸デアリマスカラ、不動産ヲ抵當ニ定期貸ヲスルコトヲ許シマシテモ、一向、法ノ精神ニ差障ルト云フコトモアリマセヌカラ之ヲ許スト云フヤウナ、詰リ理由カ之ニ相當イタシマスノデ、併ナガラ斯ノ如キ場合ハ尙ホ興業銀行ノ動産銀行ト云フ本體ニ鑑ミマシテ此制限ヲ加ヘテ置カナケレバナラヌト云フコトカラ拂込資本金額、卽チ現今デアリマスレバ千七百五十万圓、コレノ二分ノ一以上ハイカナイ、斯ウ云フ制限ヲ加ヘマシテ濫ニ流レヌ規定ニ致シマシタノデアリマス、然ルニ之ニ對シマシテ斯ノ如ク此不動産擔保ト云フヤウナ意味ニ書イテ置キマスルト云フト、勸業銀行等ノスベキ仕事、卽チ郡部等ニ對シマスル不動産ノ貸付デアリマスガ、サウ云フヤウナモノト紛ハシイコトモ生ジテ來ル、ソレデモウ少シ此不動産ト云フ字ヲ確的ニシテ置イタ方ガ宜イコトハ無イカト云フノガ衆議院ノ論デアリマシテ、茲ニ修正ニナッテ居リマスル如ク「工場ニ屬スル敷地」云々ト云フヤウニナリマシタ、此改正ニナリマシタコトニ付キマシテハ、政府ハ此不動産ト云フ其範圍ヲ限定シマシタコトデアリマスカラ、寧ロ狹クシタノデアリマスカラ、別ニ異議ナク贊成ヲ表シマシタノデアリマス、ソレカラ其次ノ要項ハ興業銀行ニ於キマシテ餘裕金ノアッタ場合ニ株券ヲ買入レテ持ッテ居ルト云フコトヲ入レタノデアリマス、本來ハ此興業銀行ニ於キマシテハ餘裕金ノアリマシタ場合ニハ公債證書、ソレカラ地方債證券、社債券、此三種類ニ限ッテ運用ヲ許サレテ居ッタノデアリマス、併ナガラ確實ナル株券デアリマスレバ矢張リ餘裕金ノアッタ場合ニ之ニ運用スルト云フコトハ何等ノ弊害モ無イト認メマシタノデ、此條ヲ多少廣クシマシテ、茲ニ前キニ申上ゲマシタ三種ノ外ニ株券ヲ入レル、斯ウ云フ事ニ致シマシタノデアリマス、是ハ或ハ此興業銀行ノ如キ性質ノ銀行デアリマシテ、株券ヲ取ルト云フヤウナコトニ致シマスルト、何カ此株券ノ賣

買デモシテ思惑デモスルト云フヤウナコトノ弊害ガ生ジハシナイカト云フヤウナ懸念モ或ル方面ニ聞イタコトモアルノデアリマスガ、併シ本來ノ之ヲ許シマシタ箇條ガ餘裕金ノアッタ場合デ、餘裕金ト申シマスレバ、サウ始終持ッテ居ルモノデモアリマセヌ、其場合ニ僅カノ株券ヲ持タストカ云フコトハ動產銀行トシテ何等ノ弊害ノ無イコトト斯ウ信ジマスノデ、遂ニ之ヲ入レルコトニ致シマシタ、是ガ此主要ノコトニナッテ居リマス、ソレカラ次ニ北海道拓殖銀行法ノ改正デアリマスガ、此改正モ要スルニ二點デゴザイマス、第一ガ樺太ノ金融機關ニ此北海道拓殖銀行ヲシテ當ラシメルト云フノデアリマスガ、此樺太ノ金融機關ノコトニ付キマシテハ樺太占領當時ニ段々政府ニ於テモ考案ヲ致シマシタ、併ナガラ尙ホ御承知ノ如キ狀況デアリマシタノデ、追ッテ此關係ヲ決定スルト云フコトデ今日マデズット推シ移ッテ來マシタ、ソレデ是マデハドウシテ居ッタカト申シマスト、最初此國庫金取扱ト云フコトニ付キマシテハ拓殖銀行ヲシテ彼ノ地ニ出張セシメマシテ、之ガ取扱ヲナサシメルト云フヤウナコトガ抑〻起リデアリマシテ、ソレカラ彼所ニ大北銀行ト云フ小サイ十万圓バカリノ銀行ガアリマスガ、此銀行ヲ利用シマシテ、卽チ拓殖銀行ガ之ヲ尻押ヲシマシテ、サウシテ樺太ノ金融ノ手助ケヲ致スト云フコトニヤッテ居リマシタ、併ナガラ此樺太ノ金融機關ヲドウスルカト云フコトハ何時マデモ未決定ニ置ク譯ニハ行キマセヌノデ、段々コレモ一面カラハ樺太ニ特設ノ金融機關ヲ造ッタガ宜カラウト云フヤウナ論モアリマシタノデスガ、樺太ノ今日ノ經濟狀態ハマダ左樣ナ域ニモ達シマセヌノデ、現ニ大北銀行ガ金融イタシテ居リマスノガ四五十万圓クラヰノ程度デヤッテ居ルト云フヤウナ經濟狀態デアリマスカラ、北海道拓殖銀行ヲシテ之ヲ經營セシムルト云フコトハ、他ノ關係カラ申シマシテモ、又資金ノ關係カラ申シマシテモ、適當デアラウト云フノデ、拓殖銀行ヲシテ經營サセル、ソレデ又一面カラ拓殖銀行ヲシテ此樺太ノ金融ヲ經營サセルト云フコトニナルト、北海道ノ經營ガ忽カニナリハシナイカト云フ論モアッタノデアリマスガ、今日ノ所デハ左樣ナ心配ハゴザイマセヌ、卽チ樺太ニ於ケル資金ノ運用額ガ尙ホ少ナイト云フ事ト、ソレカラ北海道拓殖銀行ト申シマスルノハ未ダ拂込ムベキ資本金モ大分殘ッテ居リマスルシ、債券ヲ發行スル餘力モ非常ニアリマスカラ、左樣ナ事柄ハ起ッテ來ナイト云フコトカラ、遂ニ此方針ヲ決メマシテ、總テ樺太ハ北海道ナミニ拓殖銀行ヲシテ之ガ金融機關タラシメルト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ第二ノ箇條ハ八條ノ二ト云フノデゴザイマスガ、是ハ昨年デアリマシタ、勸業銀行法、竝ニ農工銀行法ヲ改正イタシマシテ、預金ノ運用ニ付イテノ規定ヲ設ケマシタノデ、其際ハ實ハ北海道拓殖銀行法ニモ改正ヲ加ヘマシテ、同樣ノ規定ヲ設ケ筈デアリマシタ、何トナレバ此拓殖銀行ト申シマスルモノハ御承知ノ如クニ農工銀行ノ少シ毛色ノ變ッタヤウナ性質ノモノデアリマスカラシテ、政府ノ方カラ見マスト、是等ノ二銀行ハ殆ト同種類ノモノト見テ居リマス、ソレデ既ニ此勸業銀行法ナリ農工銀行法ナリノ改正ヲ致シマシタナラバ拓殖銀行法モ改正ヲスベキデアリマシタノヲ、尙ホ改メラレズニアリマシタノヲ今度此八條ノ二ヲ設ケマシテ勸業銀行竝ニ農工銀行ト同樣ノ働キヲ付ケルト云フコトニ致シマシタ、是ガ此拓殖銀行法ノ改正ノ主要ナル點デゴザイマス、大體ノ所ハ左樣ナコトデゴザイマスガ、尙ホ御質問ガアリマスレバ各條ニ據リマシテ御答辯ヲ致シマス

○委員長（伯爵吉井幸藏君）　初メニ此勸業銀行法及農工銀行法ノ二ツニ付キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○富田鐵之助君　結局、政府ノ目的ト云フモノハ、目的ヲ削除スルト云フノガ大御方針ノヤウデスネ、此勸業銀行トカ、農工銀行トカ云フモノヽ元ノ立テ方ノ目的ト云フモノヲ削除シテ仕舞フ、斯ウ云フ御說明ノヤウデアリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○政府委員（若槻禮次郎君）　此一條ノ所ニ書イテアリマスル目的ヲ削リマシタト云フコトハ別デアリマスガ、其目的ヲ削除シテ銀行ヲシテ普通ノモノト餘リ擇ブ所ナイヤウニサセル趣意デアルヤ否ヤト云フコトデゴザイマスト、左樣デゴザイマセヌノデ、農工銀行デモ勸業銀行デモ實ハ今日デハ法律ノ表ニ於テ勸業銀行、竝ニ農工銀行ト云フモノハ一方ニ於テハ不動產抵當銀行デアリ、一方ニ於テハ產業資金ノ供給銀行デアルノデアリマス、私ノ產業資金ノ供給銀行ト申スノハ一般工業用資金ト云フノデハアリマセヌ、丁度働キサヘスレバ儲カルケレドモ、併ナガラ資本ガ苦シイ爲ニ十分ニ働クコトノ出來ヌト云フヤウナ人ニ向ッテ、サウ云フ小工、小商、小農ト云フヤウナ人ニ向ッテ生活的產業上必要ナ資金ヲ供給スル機關ト云フ意味デ、之ヲ產業資金ト申スノデアリマスルガ、其產業資金ヲ供給スル機關、兼ネテ不動產抵當ヲナス機關ト云フ目的デ此勸業銀行、日本興業銀行ト云フモノガアリマスノデ、一ツノモノヲ兼ネテ居ルノデアリマスガ、唯其不動產抵當ト云フ上ニ於テ目的ガ今一段狹ク限ラレテ居ルノデ……農工業、水產業ノ改良發達ノ爲ニノミト云フヤウニ限ラレテアリマス、其點ヲ廣メテ他ノ不動產ノ方ニ行キ得ルト云フコトニシマスダケデ、サウ致シテ初メテ不動產抵當銀行タル全能力ヲ發揮セシムルヤウニ致シ、ソレデ不動產金融機關タル全能力ヲ兼ネテ、產業資金ノ供給機關ト云フ目的デアリマスガ、併シ其方ハ普通銀行ト大ニ違ッテ居ル性質デアリマス、今度改正スルコトハ一條ニ書イテアル目的ヲ取ルノデスケレドモ、之ヲ取ッタ爲ニ普通銀行ト同ジヤウナ、餘リ異ナルコトノナイヤウナモノニスルト云フ趣意ヲチットモ含ンデ居リマセヌ、興業銀行ニ至リマシテハ大體コレハ動產銀行デアリマシテ有價證券ヲ擔保ニスレバ、又有價證券ヲ働カシメテ之ガ金融ノ途ヲ付ケルト云フ銀行デアルガ、併ナガラ是ガ働ク上ニ於テ何故ニ有價證券デ金融ヲ付ケルカ、是ハ卽チ有價證券ヲ發行スルヤウナ會社ノ事業ヲ助ケル、卽チ興業資金ヲ供給シヤウト云フノデアルカラ、大體有價證券ヲ働カシメテ工業資金ヲ供給シヤウト云フ銀行デアルケレドモ、其工業資金ヲ供給スルト云フノガ重モナル目的デアル以上ハ、其方ノ側ニ今日ヨリ一層便宜ヲ與ヘル爲ニ幾分不動產ヲ根抵當ニ取ッタリ、或ハ工業財產ヲ取ル代リニ此不動產ヲ抵當ニ取テ工業資金ヲ供給スルト云フコトニナルト云フコトニナレバ、今ノ動產銀行タル日本興業銀行ヲ設ケマシタ其目的ヲ達スル上ニ性質ヲ變ゼシメズシテ便利ヲ增スコトデアルカラ、此改正ヲ施スト斯ウ云フノデアリマス、大體言ヒマスト特設銀行タル此性質ヲ失ハセナイノデアリマスガ、唯特設銀行タル性質ノ中ヲ更ニ細分シテ決メテアル所ヲバ一ペイニ働カスコトニスルト云フノガ改正ノ趣意デゴザイマス

○伊藤長次郎君　此勸業銀行、農工銀行ト云フモノハ、第一條ノ目的ニアリマスル通リニ農工業ノ改良發達ノ爲ニ、殊ニ此農工銀行法ニアリマスルガ、第七條ノ中ニソレ〳〵銀行ノ目的事項ト云フモノガ明記シテゴザイマスガ、斯ウ云フ其農工業ノ改良發達ノ爲ニ長期ニシテ殊ニ其低利ナル其資金ヲ供給スル特殊ノ銀行デアルガ爲ニ一方ニ債券

ノ發行ト云フモノヽ、政府ハ恩典ヲ附與シテ居ルト思フ、然ルニ此第一項ノ農工業改良發達ノ爲ニ發達ノ爲ト云フ特殊ノ目的ヲ滅却シテ仕舞フト云フコトニナリマスルト云フト、一面ニ於テ債券發行ト云フヤウナ特殊ノ恩典ヲ與フベキ必要ガナイモノト思フノデスガ、卽チ此農工業改良發達ト云フコトハ低利ニシテ且ツ長期ノ資金ヲ融通スルカラ特殊ノ恩典ト云フモノヲ與ヘテ居ルノデアル、然ルニ其特殊ノ目的ヲ抹殺シテ仕舞ッテ、サウシテ尙ホ依然ト特殊ノ恩典ヲ附與シテ行クト云フコトハ餘リ銀行ニ對シテ厚過ギハシナイカ、既ニ此目的ヲ滅却スルト云フコトハ斯ウ云フ特殊ノ銀行ハ既ニモウソンナニセシムベキ必要ガナイト云フ意味デアリマセウカ、或ハ事實此農業上ノ改良發達ノ爲ト云フ監督ガ出來ナイト云フ爲ニ抹殺シヤウト云フノデアルカ、或ハ一步進ンデ勸業銀行ナリ農工銀行ナリガ一般不動產銀行トシテ新ニ此農工業ニ對スル特ニ金融機關ヲ設ケルト云フ趣意デアルカ、我ゝ農業者ト云フ地位カラ考ヘマスルト云フト、是ガ一般不動產ト云フコトニナッテ仕舞ヒマスルト云フト、田舍ノ農業地ニ對スル特殊ノ金融機關ヲ失ッテ仕舞ッタヤウナ心地ガシマシテ、甚ダ農業者トシテ憂フル次第デゴザイマスガ、以上述ベマシタ廉ニ付イテ、ドウカ尙ホ御說明ヲ願ヒタイト思フ

○政府委員（若槻禮次郎君）　御承知ノ如ク此金融ノ關係ニ於テ短イ資金ガ屢ゝ要ルト云フヤウナ事情ノアル爲モアリマスレバ、長ク貸付ケテ置イテ……長ク貸付ケナケレバ期限ヲ短クシタノデハ金融ヲ付ケル目的ヲ達セヌト云フ部類モアリマスコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、ソレデ普通銀行ノ如ク此預金ヲ取ル銀行ハ預金ハ此預金者ガ持ッテ來ルニ從ッテ預ッテ來マスカラ、預金ハ幾ラデモ銀行ヲ信用スルニ從ッテ段々增加シテ行クガ、併ナガラ此預金ト云フモノハ何時預金者ガ引出シテ行ッテ自分ノ自由ニ使ハヌトモ限リマセヌノデ、銀行ガ之ヲ長イ資金ニ放資スルコトガ出來マセヌ、若シ長ク貸付ケテシマフト、預金者ガ取リニ來マシタトキニ金ガ無イカラ拂フコトガ出來ヌ、先キカラ取リニ來レバ短ク放資シテ、卽チ始終、金ガ早ク歸ッテ來ルヤウニシテ、預金者ガ取付ニ來レバ之ニ應ズルヤウニシナケレバナラヌ、是デアリマス以上ハ斯ウ云フ金ヲ以テ不動產ト云フヤウナ固定貸シヲシマスルト云フト、私ガ申上ゲタ通リニ長ク固定シテ仕舞フヤウナ貸付ニスルト云フト預金ノ取付ケ等ニ遇ヒマシタトキニ甚ダ難澁ナ次第デアリマスカラ、ドウシテモ預金デ以テ仕事ヲシテ居リマス銀行ト云フモノハ長期ニ貸付ケルト云フコトハ出來ヌモノデス、之ニ反シテ農業者デモ工業者デモ總テノ其他ノモノデモ、不動產ヲ擔保ニシテ事業ヲシヤウト云フヤウナ人ハ、ドウシテモ稍ゝ長イ資金ガ無クテハ困ル、事業ノ性質上稍ゝ長ク借リナケレバ行ケナイ、事業ヲスル人ガ不動產ヲ抵當ニシテ借出スト云フコトニナルノガ、元來固定貸付ト云フコトニ於テ當然サウアルベキ譯合デアリマスカラ、不動產ノ貸付ト云フモノハ、ドウシテモ長期ノ放資デアルト見ナケレバナラヌノミナラズ、例ヘバ短イニシテモ不動產ヲ擔保ニシマシタ以上ハ、萬一債務ノ辨償ガ無イヤウナ場合ニハ、不動產ト云フモノハ容易ニ賣却ノ出來ルモノデアリマセヌカラ、急ニ預金者ガ取付ケニ來タトキニ不動產ヲ以テ金ニ換ヘテ拂フト云フコトニ行キ兼ネルノデ、不動產抵當ト云フモノハ長ク貸付ケテモ宜シイ、急ニ取付ケニ來ナイト云フ資本ヲ以テデナケレバ不動產抵當ノ貸付ハ出來ナイ、日本勸業銀行ニシテモ農工銀行ニシテモ此度改正シタ以後、ドウ云フ銀行ニナルカト申シマスト、先キホド申上ゲマシタ如ク從來アリマシタ產業資金ヲ供給スル機關デアルコトハ依然トシテ變ラヌ、從來ノ如ク農工業、水產業改良發達ノ爲ニ不動產ヲ抵當トシテ貸付ケルト云フコトハ依然トシテヤル、其他ニ尙ホ此所ニ限ラレテ居ル目的外ニ付イテモ不動產ニ付イテ貸付ヲ爲ストニ云フノガ今度ノ改正デゴザイマスガ、今度改正ヲ加ヘマシテモ依然トシテ不動產ヲ抵當トシテ貸付ケルト云フ長期ノ性質ガ殘ッテ居ル、然ルニ左樣ナ長期ナ資本ハ預金ヲ以テスルト云フコトハ是ハ金ノ性質上許シマセヌカラ、ドウシテモ斯ウ云フモノハ債券ノ如キ或ル一定ノ期限ハ取付ケニ來ナイト云フ、長ク之ヲ放資シテモ決シテ差支ナイト云フ金ヲ持ッテ居ッテ、始メテサウ云フ金融機關タル任務ヲ盡スコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ以上ハ斯ウ云フ銀行ノ性質トシテ此銀行ノ債券募集ト云フコトハ、普通一般ノ會社銀行ト異ッテ資本ノ額以上何倍ト云フ所マデ募集スルコトモヤルヤウニシテ遣リマセヌケレバ、其銀行本來ノ任務ヲ盡スコトハ出來ヌノデアリマスカラ、ドウシテモ債券ノ募集ト云フコトハ許サンケレバナラヌト云フコトハ唯今申上ゲマシタ通リデ、之ヲ外國ノ例ニ考ヘテ見マシテモ、私ガ申上ゲルマデモナク能ク御承知ニナッテ居リマセウガ、佛蘭西ノ「クレディー、フォンシエー」土地抵當銀行ト申シマスカ不動產銀行ト申シマスカ、サウ云フ所デハ十五倍ト云フ大ナル高マデ許サレテ居ル、而シテ其「クレディー、フォンシエー」ナドハ割增金付デ債券ノ募集モ爲シ得ラレル特權ヲ有シテ居ルノデアリマス、ナゼ斯ウアルカト云ヘバ銀行其モノノ性質トシテ、貸付ヲスルニ付イテハ預金ヲ以テ支出ハ出來ヌ、社債ヲ以テ支出シナケレバナラヌ、而シテ詰リ長期ノ貸付ヲスル以上ハ餘計儲ケルコトノ出來ヌモノデアル、故ニ社債ヲ募集スルニシテモ高イ利子ノ社債ヲ募集シタノデハ低利貸付ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌ、故ニ利息ノ廉イ容易ニ取リニ來ナイト云フ金デナケレバナラヌ、ソレヲ募集スルニハ勢ヒ割增金ト云フヤウナモノデモ附ケテ、債券募集ニ際シテハ成ルベク多クノ人ニ債券ヲ餘計持タウト云フ希望ヲ持タシメテ、之ニ依ッテ債券募集ヲシテ、サウシテ得タ資金ヲ以テ長期貸付ノ資金ニ充テルト云フノ必要ガアリマス、故ニ唯今申上ゲル「クレディー、フォンシエー」ナドガヤッテ居ルノハ、矢張リ今日勸業銀行ガ持ッテ居リマス特權ト同ジヤウナ次第デアリマス、獨逸ノ方ノ「ヒポテーケンバンケン」ト云フヤウナモノデアリマシテモ左樣デアリマシテ、割增金モ許シテ居リマスシ、社債ノ募集ハ無論認メテ居リマス、何トナレバ土地抵當銀行ナリ不動產銀行ト云フモノハ銀行自體ノ性質トシテ社債デ支出ヲセンケレバナラヌモノデアルカラデアリマス、而シテ社債デ支出ヲセンケレバナラヌモノデアリマスナラバ普通ノ會社銀行ノ如ク唯資本金ノ高ダケヨリ行カヌト云フコトデハ仕事ガ出來マセヌカラ、資本金ノ何倍ト云フ社債ノ募集ガ出來ルト云フコトヲ許サヌケレバナラヌ、是ハ單リ獨逸バカリデモアリマセヌ、瑞地利デモ何所デモ左樣ニナッテ居リマスヤウニ思ヒマスガ、經濟狀態ノ進步シテ居ル歐羅巴大陸諸國ナドデハ、社會ノ必要上、此機關ナクシテハ社會ノ經濟上ノ狀況ヨリ其必要ヲ充タスコトガ出來ヌ故ニ斯樣ニナッテ居ル次第デアリマス、ソレデ日本ノ勸業銀行法モ農工銀行法モ大體ハサウ云フ仕組ニナッテ居リマシタガ、最初ハ不動產抵當ト云フ中ニ更ニ一ツノ附則ヲ設ケテ、此部分ハ出來ルケレドモ此部分ハ出來ヌトナッテ居ッタコトガ、外國ニアリマスル不動產抵當銀行ト日本ノ勸業銀行ト違フ所デアリマス、又外國デハ先キホド申上ゲマシタ如ク產業資金ノ金融機關ト云フモノハ別ニナッテ居ルノガ多イノデアリマス、佛蘭西ニ致シマシテモ獨逸ニ致シテモ、是ハ不

動産銀行ガ兼ネテヤッテハ居リマセヌ、別ナ機關デ働キヲスル、不動産銀行ハ不動産銀行トシテ働ク、是ハ日本デハ此二ツノモノガ一ツノ勸業銀行、竝ニ農工銀行ヲシテ實行サセテ居ルコトハ御承知ニナッテ居ル通リデアリマス、而シテ兩方兼ネテ居リナガラ不動産ノ方ハ日本ノ制限ヲ受テ居ッタノガ、此度其制限ヲ解イテ、全然外國ニアル機關ダケノモノハ日本ニ於テモヤラシメタイト云フノガ此案ノ趣意デアリマス、斯ウ云フ改正ヲスレバ特權ノ必要ガ無クナリハセヌカト云フコトデスガ、改正ニ依テハ社債募集ノ特權ヲ與ヘルコトハ、其必要ヲ減ジマセヌノミナラズ寧ロ益〻其必要ガ增スノヲ見ル位ノ考ヘヲ有ツノデアリマス、ソレカラ今マデハ不動産低當ノコトガ農工業、竝ニ水産業ニ限ラレテ居ッタガ、此度ハ是ガ廣クナルト云フト、森林ノ方ヘモ行ク、鑛山ノ方ヘモ行ク、場合ニ依ッテハ商業ノ方ヘモ行ク、斯ウ云フコトニナッテ來ルカラ、農業者ノ得テ居ッタ折角ノ資金供給ノ途ガ少ナクナルヤウデアルガ、何カ政府ハ此銀行ノ外ニ更ニ又農工業改良ノモノヲ立テル考ヘガアルノカドウカ、或ハ此銀行ヲシテ他ノ銀行ト異ラナイヤウナモノニ爲ス考ヘデアルカドウカ、斯ウ云フヤウナ最後ノ御質問デアリマシタガ、他ノ銀行ト異ラナイモノニ爲ス考ヘノ無イコトハ、長期貸付ノ機關トシテ使フト云フコトヲ申上ゲタノデ既ニ御答ヘ申上ゲタノデアルガ、然ラバ此銀行以外ニ更ニ農工業改良發達ノ機關ヲ造ルカト云フ御尋ネニ對シテハ、サウ致シマセヌデ、此機關ガアルノデアルカラ、此機關ノ足リナイ所ヲ此度充タスト云フコトニシタノデアリマスカラ、此機關ヲ措キマシテ更ニ不動産ノ爲ニ銀行ヲ造ッテ、同ジヤウナ性質ノモノニ同ク特權ヲ與ヘテ、相競爭セシメテ御互ニ不確實ナル狀態ノモノタラシメルヨリモ、寧ロ新ニサウ云フ機關ヲ造ラヌデ、今アル機關デヤラセル方ガ宜シイト云フ考ヘヲ有ッテ居ッテ、此改正案ヲ提出イタシマシタ以上ハ、更ニ新ニ銀行ヲ造ルト云フ考ヘノアリマセヌコトハ當然ノ譯合デアリマシテ、ソレハ無イノデアリマス、然ラバ農工業ノ改良資金ノ方ノモノヲ、政府ハ從來專ラニシテ居ッタノニ、此改正ニ依ッテ薄クナルヤウダガ、其點ヨリ農業者ハ甚ダ心細ク思フヤウニ考ヘルガ如何ト云フ御質問ニ對シテハ、目的ハ廣クナリマシタケレドモ、何所マデモ從前ヨリ農工業者ノ資金ヲ供給スルト云フ任務ヲ盡シテ居リマシタコトハ、是ハ何所マデモ今後ト雖モ行ハシメタイト云フ考ヘハ政府ニ於テハ全然其考ヘデ居リマスノデ、ソレ故ニコソ、被害地ヲ擔保ニ取ルコトハ出來ヌト云フ制限ヲ加ヘルコトモ拔ク出シマシタ次第デ、サウ云フコトナシニ置イテモ不動産抵當銀行タルコトハ妨ゲアリマセヌガ、外國ニハ例ノ無イコトデアリマス、此勸業銀行ノ十四條ノ二トカ、農工銀行法ノ六條ノ二トカ、此度ノ規定ノ如ク、被害地ノ擔保ト云フモノニ制限ヲ付ケルコトハ外國ノ不動産銀行ニハ例ノ無イノデアル、ソノ例ガ無イニモ拘ラズ、斯ウ云フ規定ヲ置キマシタ以上ハ立法上ニ於テモ政府ハ何所マデモ商業資金ニ餘計ニ行ッテ、農工業ノ資金ニ不足ガアルヤウナコトノナイヤウニシタイ考ヘデ擔保デ押ヘテ、ソノ方ニ行カヌヤウニシテ、農工業ノ資金ニ多ク行カシタイト云フ精神ガ現ハレテ居ルト云フテモ宜カラウト思ヒマス、加之、御承知ノ通リ大藏省預金部ノ金モ今日低利資金トシテ約半分クラヰハ地方ニ貸出シテ散布サセテ居ルノデアリマスガ、此資金ハ今年ハ地方ニ行キマシタモノハ低利資金貸付ト云フ意味ヲ以テ行ッタノハ千万ソノ例ガ無イニモ拘ラズ、斯ウ云フ規定ヲ置キマシタ以上ハ立法上ニ於テモ政府ハ何所マデモ商業資金ニ餘計ニ行ッテ、農工業ノ資金ニ不足ガアルヤウナコトノナイヤウニシタイ考ヘデ擔保デ押ヘテ、ソノ方ニ行カヌヤウニシテ、農工業ノ資金ニ多ク行カシタイト云フ精神ガ現ハレテ居ルト云フテモ宜カラウト思ヒマス、加之、御承知ノ通リ大藏省預金部ノ金モ今日低利資金トシテ約半分クラヰハ地方ニ貸出シテ散布サセテ居ルノデアリマスガ、此資金ハ今年ハ地方ニ行キマシタモノハ低利資金貸付ト云フ意味ヲ以テ行ッタノハ千万

助ケモ致シテ居ル次第デアリマスカラ、預金部ノ資金ガ多クナレバナルホド政府ハ此金ノ方カラ地方ノ低利資金ノ融通ヲ多クシタイト考ヘテ居リマスノデ、金高ヲ決メテ申スコトハ出來マセヌガ、預金部ニ增加スル金ノ半分クラヰハ地方ノ低利資金ニ融通イタシタイト思ヒマス、サテ本年度預金部ノ預ッタ金ハ四千万圓以上デアリマスカラ、來年度、四十四年度ハ如何ナル分リマセヌガ、併シ本年度ヨリモ大變減ズルトハ思ヒマセヌ、假ニ四千万圓集マルトシマスルト、其半分ノ二千万ノ金ハ低利資金ヲ融通シ得ル譯デアリマスカラ、斯樣ナ低利資金ハ今日大藏省ガ貸出スニハ貸先マデ干渉シテ、ドウ云フ方面ニ貸セト云フコトマデ指定シテ居リマス位デ、決シテ商工業ノ資金ニ之ヲ貸スコトヲ許シマセヌ、然ル以上ハ政府ノ手元カラ便宜ヲ與ヘテ供給スベキ資金ニ付イテハ、從來ハ悉ク農工業ノ改良發達ニ向ケテ行クノデアリマス、ソレデ法律ノ表ニ於テ擔保ノ制限ヲシテ置キマス以上ハ、其精神ノ從來ノ農工業ノ資金ニ供給スルト云フコトハ失ハナイ積リデ居リマス、故ニ其方ノ資金ガ大變狹クナッテ、是マデ得テ居ッタ農民ノ便宜ガ少ナクナッテ心細ク思フト云フヤウナ御心配ノアル所ハ、是ハ左樣イタサセナイ方針ヲ以テ常ニ進行シテ參ル積リデアリマス

○富井政章君　現行法ニ依レバ日本勸業銀行、竝ニ日本農工銀行ノ貸付ノ目的ハ商業又ハ水産業ト限ッテアリマス、農工業ノ爲ト云フコトハ明白ナヤウデアリマスケレドモ、實際ハ果シテ農工業ノ爲デアルカ無イカト云フコトハ分リニクイ場合ガ頻繁ニ生ズルデアラウト思フノデアリマス、銀行ハ自然營業上ノ利益カラ少シデモ農工業ノ爲トアル場合ニハ貸付ヲスルト云フ傾キニナル譯ケデアラウト思ヒマス、サウスレバ第一條ニ定メタ目的ニ違反スルト云フ譯ケニナル、ソレニ付イテハ罰則ナドハ無イヤウデアリマスケレドモ、大藏大臣ハ行政上ノ監督權ヲ有ッテ居ルノデアリマスガ、目的ニ反シテ貸付ヲシタノデアルカ無イカト云フコトヲ、一々監督權ヲ以テ取調ベルト云フコトハ難シイコトデヤナイカト思ヒマス、貸付ノ事實ヲ一々穿鑿シテ農工業ノ爲デ有ルカ無イカト云フコトヲ調ベルト云フコトハ極メテ困難ナコトデアッテ、殆ド行ハレ難イコトデアラウカト思フノデアリマス、ソレガ行ハレナイトスレバ、第一條ノ制限ト云フモノハ有ルモ無イモ同ジモノノヤウニナッテ仕舞ヒマスガ、其邊ハ是マデドウ云フ風ニナッテ居リマスカ、何カ實際監督ノ出來ル途ガアルノデアリマスカ、其邊ノコトハドウ云フ風ニ行ハレテ居リマスカ、唯今受取ッタバカリノ關係書類ト云フ中ニ兩銀行ノ營業概況ト云フヤウナ項目ガアリマシテ、其中ニ書イテアルコトカモ知レマセヌガ、チヨット伺ヒタイノデアリマス

○政府委員（若槻禮次郎君）　唯今ノ法律ニハ目的ガ書イテアリマシテ、目的以外ノモノニ貸シタモノニハ、若シ發見イタシマスレバ、其コトハ法律違反デアリマスカラ詰リ無效ダト云ッテモ宜イ位ノコトデアリマス、トコロガ實際ニ於キマシテ、ドウナッテ居ルカト申シマスト、御尋ネノ如ク借リル人ハ目的ガアリマスカラ、其目的ヲ書イテ來マセヌケレバ法律違反ノ者ニナルト貸ス譯ニ行キマセヌカラ、チヤント目的ニ適フヤウニ書イテ來ルノデアリマス、ソレデ大藏省ノ昨年モ既ニ屢〻銀行ノ檢査モ致シマシタガ、此改正ヲスルニハ最近ノ狀態ヲ調ベル必要ガアリマシタノデ、昨年ハ勸業銀行ハ勿論、全國ノ農工銀行ニ人ヲ出シテ實地檢査ヲシマシタガ、檢査ヲシテ見マスルト、貸付ヲ賴ンデ來タ書面ハ農業ナリ、工業ナリノ改良發達ノ爲メト書面ニハ書イテアル、其上カラ見レバ立派ニ第一

條ノ目的ニ、合フ通リニ出來テ居リマスガ、併シ銀行ニ向ッテ言ウテ來タ通リニ先キデ行ッテ居ルカドウカト云フコトヲ調ベマスルト、ドウモ初メ言ウテ來タ通リニ行ッテ居ナイラシウ見エルノデアリマス、ケレドモ其所デ先キニ行ッテ農工業發達ノ外ノコトニ使ッテ居リハセヌカト云フコトヲ調ベルト云フコトハ、大藏省ハ銀行檢査ノ權ハアリマスガ、一步進ンデ個人ノ業體ヲ調ベルト云フコトマデ干涉シマセヌト出來マセヌカラ、銀行ノ檢査モ怠ッテハ居ヌ譯デアリマスガ、今日ノ大藏省官吏ヲ以テシテハ、ナカ〳〵全國ニ涉ッテ洩レナク銀行ノ檢査ヲ始終シテ行クト云フコトハ出來兼ネマスノデ、ソレデ法律デ特設シマシタ銀行ハ固ヨリ十分ニ監督スル必要ガアリマスカラ常ニ實地檢査ヲ怠ラヌヤウニシテ居リマスガ、其他ノ銀行ニナリマスト云フト、マア點々數行ヲ撰ンデ一年間ニ何箇所ト云フ位ヅヽ漸次ニ色ミナ方面ニ行ッテ居ルノデアリマス、尙ホ今日ノ有樣デハ全國ニ行渡ッテ檢査ヲスルト云フコトハ出來ヌノデアリマスカラ、ソレヨリモ尙ホ一步進ンデ行ッテ實際其金ヲ借リタ者ガ如何ナル狀態デアルカト云フ點マデ、見ヤウト云フコトハ餘ホド是ハ困難デアリマス、是ハ事實ニ於テハソコマデ調査ガ行ハレテ居ナケレバナラヌノデアリマセウガ、銀行ヘ行ッテ檢査ヲシテ見マスト如何ニモ立派ニ書面ハ出來テ居リマスケレドモ、世間ノ評判ノ通リ農工銀行カラ農業改良ノ資本ニ使フト云ッテ金ヲ借リテサウシテ其金ヲ外ノ費途ニ使ッテ居ルト云フヤウナモノガナイデモナイ、サウ云フ評判ヲ聞カヌデハアリマセヌ、併ナガラ銀行檢査ノ役人ガ銀行ニ臨ンデ調ベテ見マスト、書面上ダケハ立派ニ出來テ居リマスガ、ソレガ想像デゴザイマスカラ格別コレト云フ證據ノアル譯デハアリマセヌケレドモ、想像ヲシタ所ノ報告ニ依ッテ見マスト云フト、ドウモ銀行カラ金ヲ借出シタ目的、即チ書面ニ書イテアル所ノ目的以外ニ使ッテ居ルモノガアルラシク思ハレルノデアリマス、法律ノ上カラ行キマスト、ドコマデモサウ云フコトヲ矯正シナケレバナリマセヌヤウデアッテ、大藏省ガソコマデ進ンデ行ッテヤラナケレバナラヌノデハアリマスガ、若シ之ヲソコマデ進ンデ大藏省ガ干涉シヤウト云フコトニナリマシタラ餘ホド多クノ人ヲ要シ、各人ノ仕事ノ上ニマデ進ンデ干涉ヲスルコトニセヌケレバ出來ヌノデアリマス、或ハ今一層勸業銀行法ノ上ニ於テソコマデ大藏省ノ官吏ガ職權ヲ以テ進ンデ行ケルヤウナ規定デモ加ヘマセヌケレバ、今日ノ現狀ノ儘デ大藏省ノ役人ガソコマデ立入ッテ調ベルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトハ是ハ一ツノ問題ダラウト思フノデアリマス、勿論法律上ニ規定ガアレバドコマデモヤラナケレバナリマセヌノデスガ、ナカ〳〵今日ノ現狀デハソコマデハ手ガ屆キマセヌ、其結果、世間デ農工銀行ナリ勸業銀行ナリ、サウ云フ所カラ金ヲ借リタ者ガ果シテ其借リ出シタ目的通リニ使ッテ居ラヌト云フ評判ヲ立テラレルト云フノハ事實ニ相違ナイノデアリマス、ドウ云フ實況デアルカト云フ御話デアリマスト遺憾ナガラサウ云フコトモアルラシイト御答ヘヲシナケレバナラヌノデアリマス

○政府委員（勝田主計君）　唯今ノ御尋ネニ對シマシテ大藏次官ノ說明ハアリマシタガ、昨年檢査ヲ致シマシタ當時ノ實驗ニ依リマシテ、チヨット次官ノ說明ヲ補足シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ日本ノ農家ト云フモノハ未ダ我ミガ中央ニ仕ッテ考ヘテ居ルヤウナモノデハアリマセヌノデ、例ヘバ農家ノ者ガ農工銀行カラ金ヲ借リル、サウスルト鑑定人ヲ掛ケテ其土地ノ價格ハドウ云フモノデアルカト云フコトヲ調ベサセル、是ハ規定ニ依ッテヤルノデアリマス、サウスルト農家ノ方デハ大變ソレヲ嫌フト云フ實況デアリマス、卽チ人ガ來マシテ、洋服ヲ著タ者ガ來テ其所有地ノ周圍トカ或ハ其邊ヲウロ〳〵シテ居ルト云フコトハ多少世間ニ對シテ憚ル所デアッテ、農家ノ者ハサウ云フコトヲサレテマデ金ヲ借リルト云フコトヲ嫌ッテ、ソレガ爲ニ農工銀行ヘ借リニ行カヌト云フヤウナ事柄モアリマス、ソレカラ丁度ソレト同ジ樣ニ精神上ノ關係デ農工銀行法ニ依リ農工銀行ノ目的ニ適合サセルヤウニト云フコトヲ強制スル爲ニ斯ウ云フ規定ガアルノデアリマス、卽チ「農工銀行ハ第六條ノ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テ債務者ガ貸付ノ目的ニ反シ貸付金ヲ使用スルトキハ償還期限前ト雖貸付金全部ノ償還ヲ要求スルコトヲ得」ト云フコトガアリマス、併ナガラ之ヲ實際ニヤッテ見タコトモアル、卽チ農工銀行法ノ規定ガアリマスノデ、農工銀行ガ實際事業ハドウナッテ居ルカ、金ヲ貸出シタ目的ノ事業ハドウナッテ居ルカト云フコトヲ銀行カラ調査シテ見ヤウトスル、サウ云フ調査ヲシマスト其金ヲ借リタ者ノ方デハ、既ニ金ヲ借リタ目的ノ仕事ヲシテ居ルノニソレヲ疑ッテサウ云フヤウニ探偵ガ罪人ノ後ヲ尾ケテ步クヤウニ調ベ廻ッテ步カレルノハ甚ダ迷惑デアル、サウ云フコトヲスルナラ農工銀行カラ金ヲ借リナイデ寧ロ高利貸カラ借リタ方ガ宜イト云フヤウナ狀況ガ實際アルノデゴザイマス、ソレデ斯ウ云フコトハ今日ノ日本ノ大體カラ申シマシテモ農家ノ狀態カラ見マシテモ之ヲ忌ムノハ然ルベキコトデアルト考ヘマスノデ、旁〻唯今大藏次官カラ說明イタシマシタヤウナ次第デ、殆ド其目的ニ依ッテ金ヲ使ハセルト云フコトハ不能ニシテ且ツ之ヲ實行シヤウト思ヘバ有害ニシテ利益ハナイト云フ狀況デアルト考ヘテ居リマス

○伊藤長次郎君　此勸業銀行法第十四條ノ二ノ修正案ニ「工場財團及工場ニ屬スル敷地又ハ建物ヲ除クノ外」云々「貸付金額ハ拂込資本金額及勸業債券發行額ノ二分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス」卽チ「工場財團及工場ニ屬スル敷地又ハ建物ヲ除ク外」トアリマス、之ニ依ッテ見マスルト工場財團トカ或ハ工場ニ屬スル敷地建物ニ對シテ勸業銀行ハ貸出スコトガ出來ナイヤウニナリマスヤウデスガ、此貸セナイト云フ理由ヲ一ツ御說明ヲ願ヒマス

○政府委員（勝田主計君）　是ハ御尋ネト全ク反對デゴザイマシテ、工場財團又ハ工場ノ敷地等ニ付イテハ從來モ貸シテ居ッタノデゴザイマシテ、是レハ貸セヌドコロデハナイ大ニ貸セル方ノ範圍ニ入ルノデゴザイマス

○伊藤長次郎君　ハヽアサウデスカ、ソレデハ私ハ誤解シテ居リマシタ

○室田義文君　唯今受取リマシタ參考書ニ依ルト色ミ綿密ナル御調ベモアリマスガ、今受取ッタバカリデ、今玆デ熟讀スル遑モアリマセヌ、之ヲ能ク拜見シタ上デ明後日デモ會議ヲ御開キ下サルコトニシテ、今日ハ是デ御散會ニナッテハ如何デゴザイマセウ

○緖島武之助君　贊成

○委員長（伯爵吉井幸藏君）　ソレデハ今日ハ是デ……

○富井政章君　明日引續イテ御開キニナリマセウカ

○委員長（伯爵吉井幸藏君）　皆サンノ御考ヘハ如何デゴザイマセウ

○室田義文君　議事ノアル日ニ御開キニナッテハ如何デゴザイマス

○委員長（伯爵吉井幸藏君）　却ッテ議事ノナイ日ノ方ガ宜クハゴザイマセヌカ

（「議事ノナイ日ガ宜イデセウ」ト述フル者アリ）

○委員長（伯爵吉井幸藏君）　ソレデハ議事ガ有ッテモ無クテモ明日午前十時カラ開

クト云フコトニシテ置キマセウ

午後二時三十分散會

出席者左ノ如シ

委員長　伯爵吉井　幸藏君

委員

子爵牧野　忠篤君　男爵新田　忠純君　男爵吉川　重吉君

富田鐵之助君　鮫島武之助君　富井　政章君

室田　義文君　伊藤長次郎君

政府委員

大藏次官　若槻禮次郎君　大藏省主稅局長　勝田　主計君

大藏書記官　森　俊六郎君

明治四十四年三月十五日印刷　明治四十四年三月十六日發行　貴族院事務局　印刷者　印刷局